

3. 関連経済指標の概況

(1) 業況判断

日本銀行「企業短期経済観測調査」(2004年6月)

建設業(大企業)の業況判断D I(「良い」-「悪い」)

前回3月調査の「最近」は-20、今回調査の「最近」は-14、「先行き」は-14となった。

前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると6ポイント改善しており先行きは横ばいとなる見込み。

不動産業(大企業)の業況判断D I(「良い」-「悪い」)

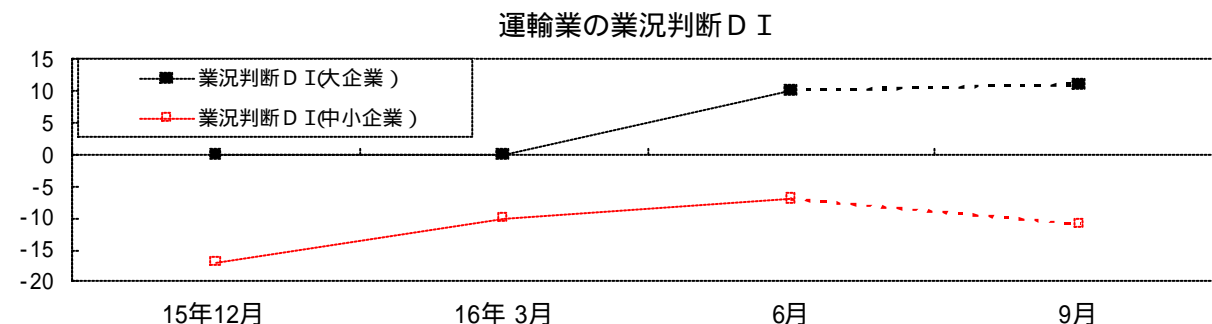
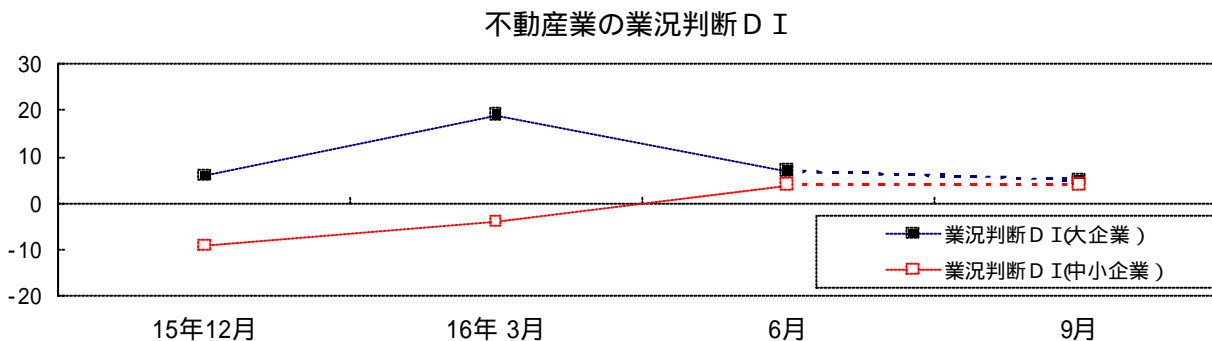
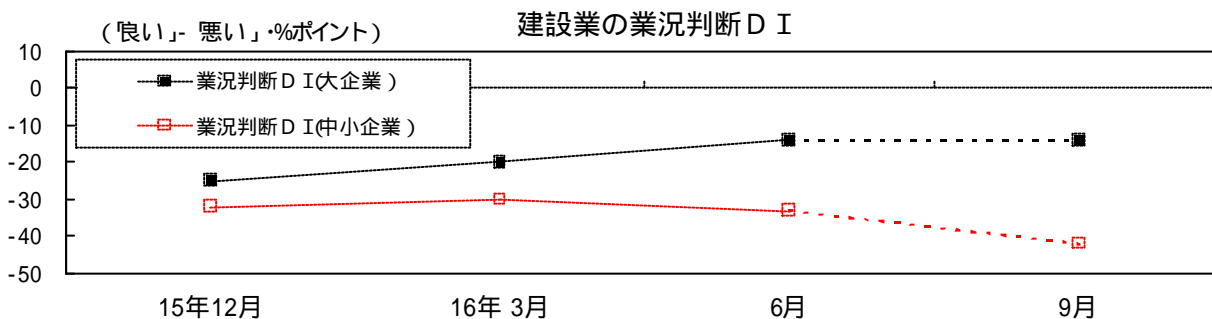
前回3月調査の「最近」は19、今回調査の「最近」は7、「先行き」は5となった。

前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると12ポイント悪化しており先行きは2ポイント悪化となる見込み。

運輸業(大企業)の業況判断D I(「良い」-「悪い」)

前回3月調査の「最近」は0、今回調査の「最近」は10、「先行き」は11となった。

前回3月調査の「最近」と今回調査の「最近」との変化幅をみると10ポイント改善しており先行きは1ポイント改善となる見込み。



資料:日本銀行「企業短期経済観測調査」

(注)点線は3カ月前までの予測値

(2) 雇用情勢

就業者数等（7月調査）

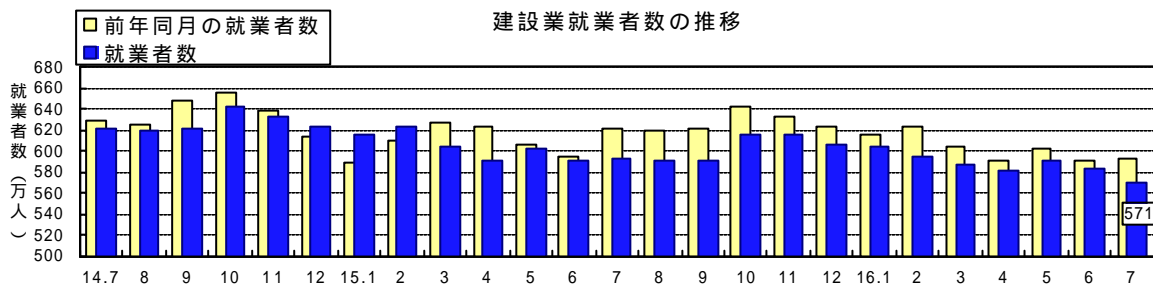
建設業就業者数は571万人で、前年同月比3.7%減少（17ヶ月連続）した。雇用者数は462万人で同4.0%減少（3ヶ月ぶり）し、うち常雇は同3.5%減少（4ヶ月ぶり）、臨時雇は同4.3%増加（5ヶ月ぶり）、日雇は同20.0%減少（8ヶ月連続）となった。

運輸業就業者数は305万人で同7.0%減少（2ヶ月連続）、雇用者数は290万人で同6.1%減少（2ヶ月連続）となった。

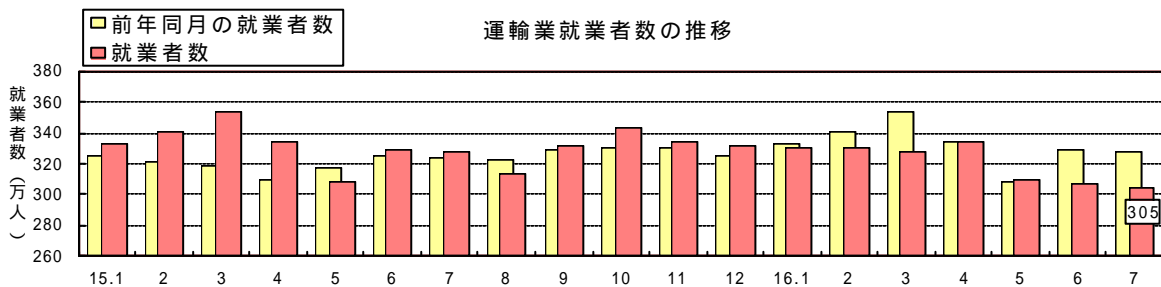
労働の状況（7月調査・速報）

建設業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与）は前年同月比0.8%減少（2ヶ月ぶり）、総実労働時間指数は同0.5%増加（2ヶ月連続）、所定外労働時間は同4.3%増加（10ヶ月連続）となった。

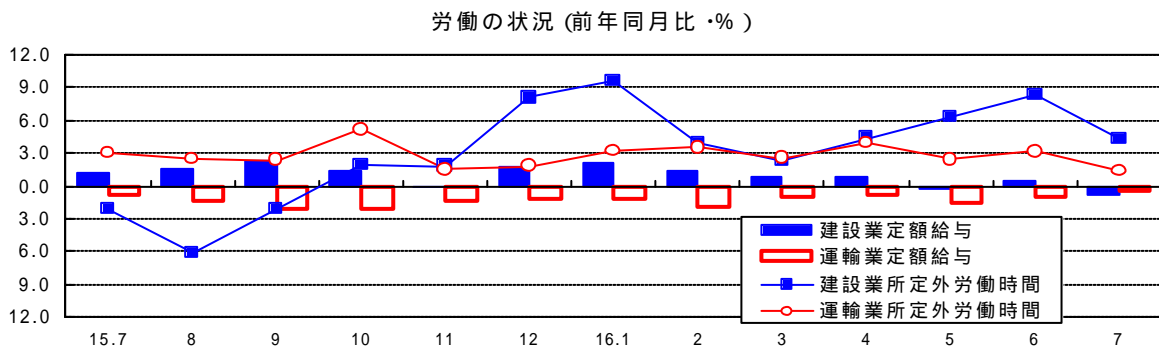
運輸業（常用労働者5人以上の事業所）の賃金指数（きまって支給する給与）は前年同月比0.5%減少（19ヶ月連続）、総実労働時間指数は前年同月比0.5%増加（2ヶ月連続）、所定外労働時間は同1.4%増（29ヶ月連続）となった。



資料：総務省「労働力調査」



資料：総務省「労働力調査」



資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(3) 倒産

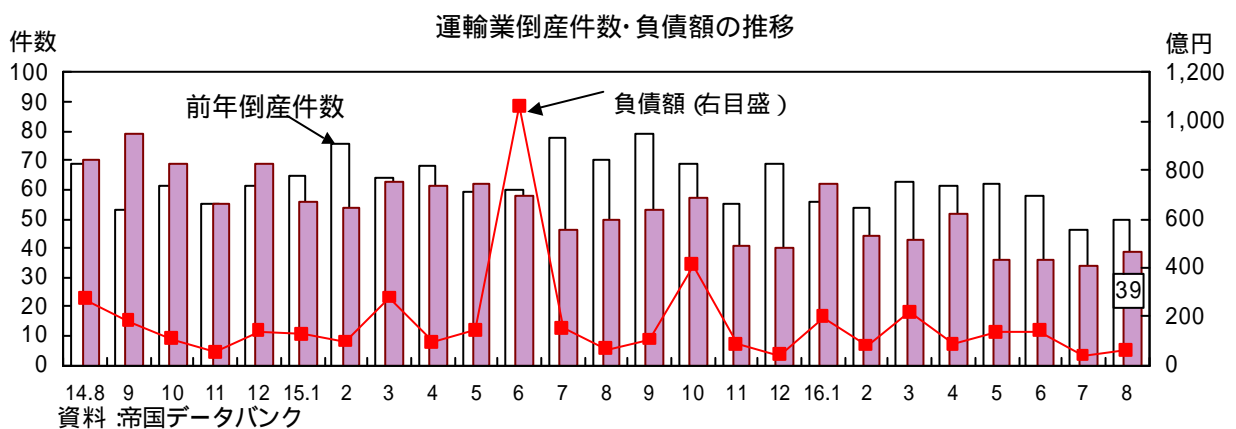
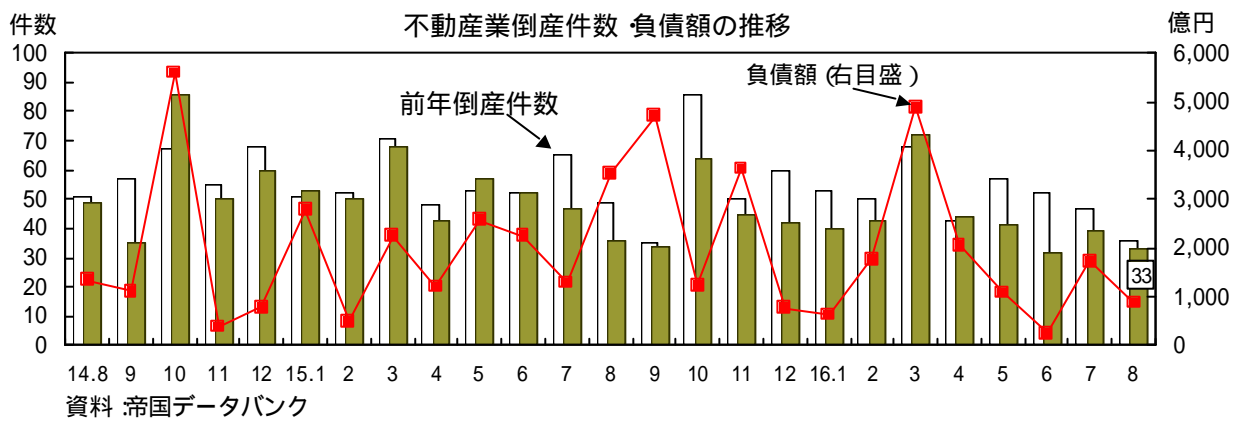
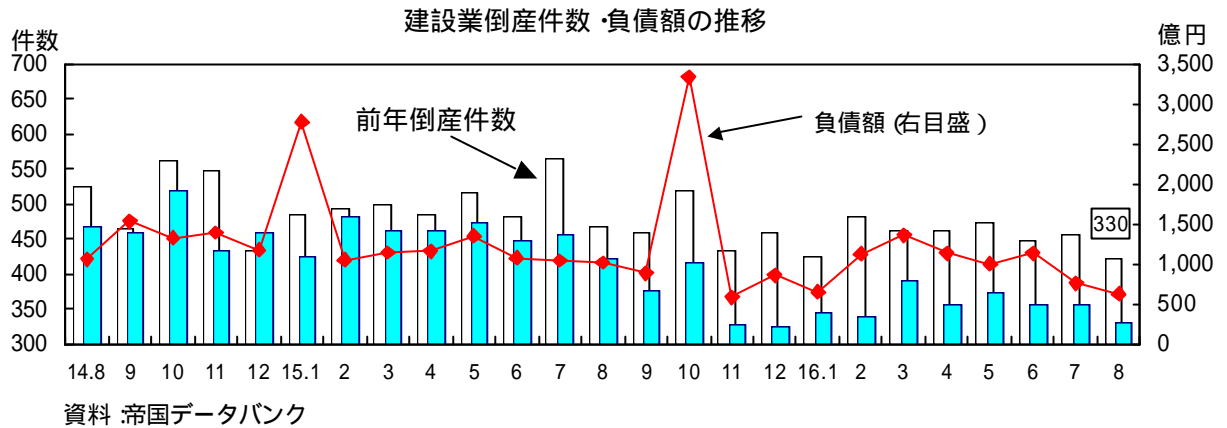
8月

全産業の倒産件数は1,080件で、前年同月比18.2%減と20ヶ月連続の減少となった。

業種別にみると、建設業の倒産件数は330件で、前年同月比21.8%減と20ヶ月連続の減少となった。

不動産業の倒産件数は33件で、前年同月比8.3%減と4ヶ月連続の減少となった。

運輸業の倒産件数は39件で、前年同月比22.0%減と7ヶ月連続の減少となった。



(4) 建設資材の市場動向

建設財の生産指数(7月確報、季調済)は83.6(平成12年=100)で前月比0.1%低下(2ヶ月連続)、出荷指数は84.8で同3.0%低下(4ヶ月ぶり)、在庫指数は83.9で同0.4%上昇(2ヶ月ぶり)した。

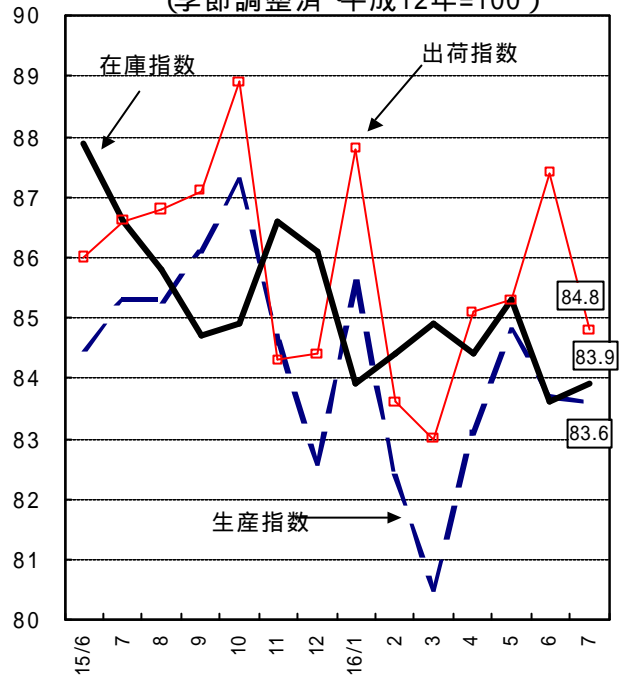
建設用材料(中間財)の企業物価指数(7月)は105.7(平成12年=100)で、前月より0.4%上昇した。

建設財の生産・出荷・在庫
(季調済前月比、%) (7月)

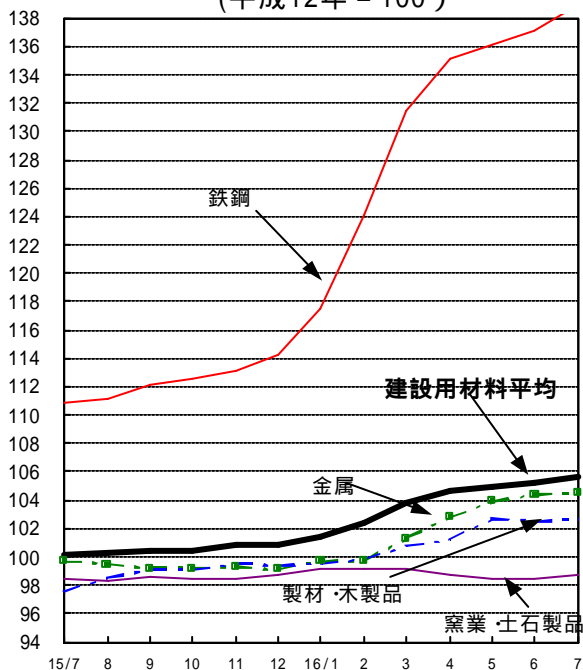
		生産	出荷	在庫
建設財		0.1	3.0	0.4
7月確報値	鉄鋼	1.7	2.4	2.7
	金属製品	3.4	7.8	0.5
	窯業・土石製品	0.6	2.3	0.6
	木材・木製品	1.6	2.3	2.7
建設財(前年同月比)		2.8	3.1	3.2
(参考)鉱工業		0.0	0.5	1.9
(参考)鉱工業(前年同月比)		5.9	6.8	3.7

資料：経済産業省「生産・出荷・在庫指数」

建設財の生産・出荷・在庫指数
(季節調整済、平成12年=100)

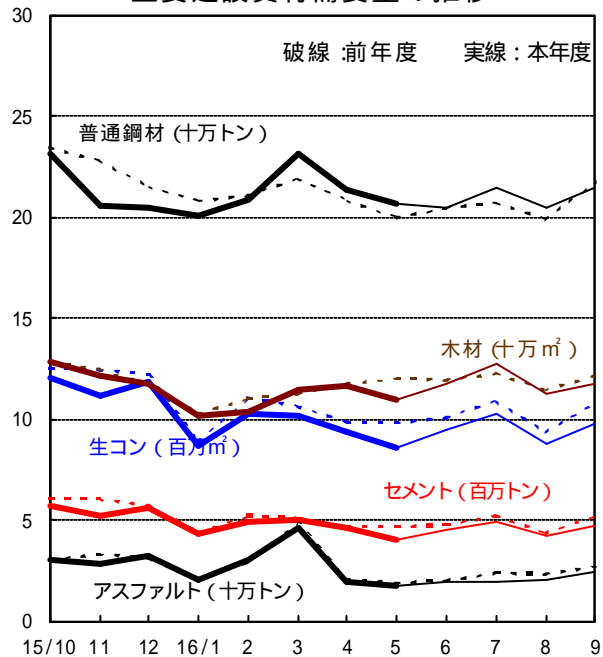


中間財 建設用材料 企業物価指数
(平成12年=100)



資料：日本銀行

主要建設資材需要量の推移

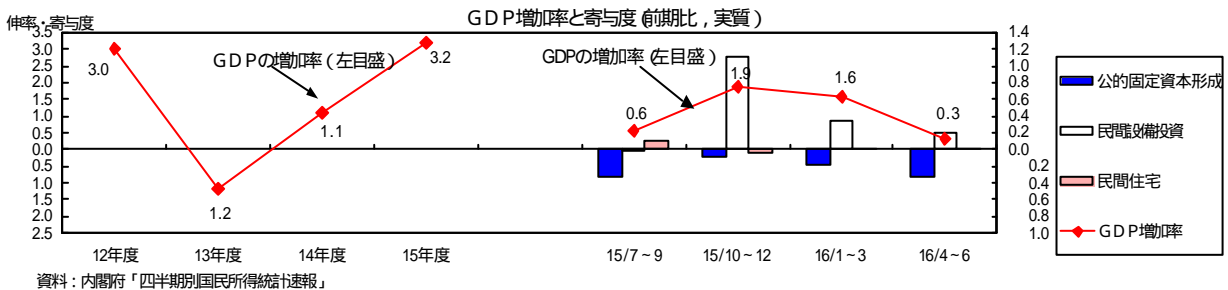


注)直近4ヶ月間の細線は予測値
資料：国土交通省労働資材対策室

(5) 一般経済指標の概況

	全実 国質 消全 費世 支 帯出	全売 国額 百(既 貨存 店 販)	機(船 舶・ 械電 力を 除く 民需 注)	資(本 除財 輸送 荷機 指 数)	鉱生 産 工 指 業 数	輸(通 関額 ペ ー ス 出)	輸(通 関額 ペ ー ス 入)	国物 内価 企指 業 数	有 効 求 人 倍 率	完 全 失 業 率	企(業 全 倒 産 業 件 数)	マ ネ I 2 サ + ブ C D イ	日 経 平 均 2 2 5 種	東 交 通 量 高 速 大 型 + 特 大 車 均
	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季 期) 前 比	(季 期) 前 期 比	(季 期) 前 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	(季, 倍)	(季, %)	前 年 同 期 比	前 年 同 期 比	期 末 値 前 年 同 期 比 (円)	前 年 同 期 比
平成13年度	2.1	0.3	12.6	14.5	9.1	6.6	2.3	2.5	0.56	5.2	5.9	3.1	11,025	4.7
14	0.1	2.3	3.7	5.4	2.8	8.5	3.8	1.7	0.56	5.4	5.6	2.9	7,973	0.2
15	0.0	2.4	8.2	5.7	3.5	6.3	4.1	0.5	0.69	5.1	16.6	1.6	11,715	0.3
15年7～9月	1.6	2.9	1.0	3.0	1.0	7.1	6.5	0.7	0.64	5.1	19.4	1.8	10,219	0.7
10～12月	0.2	2.3	8.5	6.0	3.9	4.0	0.5	0.4	0.74	4.9	21.3	1.5	10,677	1.0
16年1～3月	2.1	1.1	5.6	3.4	0.5	11.6	4.4	0.1	0.77	5.0	18.2	1.7	11,715	1.6
4～6月	2.3	3.0	10.3	5.6	2.6	13.3	9.2	1.0	0.80	4.8	20.4	1.9	11,859	2.6
平成15年6月	1.6	2.1	2.4	4.3	0.6	0.0	11.7	1.1	0.61	5.3	1.2	1.8	9,083	1.4
7	3.9	2.1	2.4	2.8	0.5	5.6	5.4	0.8	0.62	5.3	23.7	1.8	9,563	0.2
8	1.0	1.7	1.9	0.9	1.1	6.4	3.4	0.7	0.63	5.1	15.4	2.0	10,344	1.5
9	1.8	5.2	1.8	3.1	3.7	9.2	10.6	0.5	0.66	5.1	18.2	1.8	10,219	3.9
10	0.8	0.6	12.8	4.2	1.1	5.4	1.9	0.5	0.70	5.2	18.7	1.5	10,560	1.6
11	0.7	4.1	5.9	1.2	1.3	2.0	5.1	0.5	0.74	5.1	20.7	1.6	10,101	3.2
12	0.4	3.0	6.0	0.5	0.6	8.5	1.7	0.1	0.78	4.9	24.6	1.5	10,677	1.0
平成16年1月	1.3	0.1	8.1	8.1	2.9	11.3	0.8	0.0	0.77	5.0	16.1	1.6	10,784	0.6
2	5.2	2.3	2.8	3.3	3.8	10.3	0.9	0.0	0.77	5.0	23.8	1.7	11,042	0.7
3	0.2	4.5	3.2	6.5	0.6	13.2	12.3	0.2	0.77	4.7	14.3	1.7	11,715	3.5
4	4.6	1.0	11.8	7.4	3.5	10.8	6.6	0.6	0.77	4.7	21.5	1.9	11,762	4.1
5	4.8	2.4	2.1	5.0	0.8	9.8	5.0	0.9	0.80	4.6	20.2	2.0	11,236	4.1
6	2.6	5.5	3.9	2.4	1.3	19.4	15.5	1.4	0.82	4.6	19.5	1.7	11,859	7.6
7	1.1P	0.8	11.3	0.9	0.0	14.3P	8.3	1.6	0.83	4.9	16.8	1.8	11,326	3.8
8	-	-	-	-	-	-	-	P	1.7	-	18.2P	1.9	11,082	-

Pは速報値。



注1) 項目別の寄与度には、民間企業設備投資、民間住宅、公的固定資本形成の他に、民間最終消費支出、民間在庫品増加、政府最終消費支出、公的在庫品増加、純輸出があり、これら全ての項目の合計が、GDPの増加率となる。
 注2) 平成11年度以前のGDP増加率は、すでに確報値として公表している数値。平成12年度のGDP増加率は、参考系列の年度合計値と比較して算出。